

## 第2回 新宿区協働支援会議次第

令和3年4月26日（月）午後2時  
新宿区役所本庁舎6階第2委員会室  
（オンライン開催）

### 1 開 会

### 2 議 事

#### (1) 令和3年度一般事業助成対象団体の選考について

- ① 一次評価（書類評価）の通過基準について
- ② 二次評価（公開プレゼンテーション）の実施方法
- ③ 二次評価（公開プレゼンテーション）の質問方法
- ④ 一次評価（書類評価）にあたっての事前協議

#### (2) その他

### 3 次回開催について

#### ・ 第3回協働支援会議（書面会議）

令和3年4月28日（水） ※スケジュール見直しの結果、中止

#### ・ 第4回協働支援会議（オンライン開催予定）

令和3年5月18日（火）午後2時～ 本庁舎6階第2委員会室

### 4 閉 会

#### 配付資料

- [資料1] 公開プレゼンテーションについて（最終案）
- [資料2] 令和3年度一般事業助成・プレゼンテーション質問票  
（参考：令和元年度一般事業助成・プレゼンテーション質問票）

#### 事前配布資料

- 令和3年度一般事業助成申請書

## 公開プレゼンテーションについて（最終案）

動画作成に対する団体の負担の大きさ、公平性の担保に関する懸念が、動画作成の仕様により制約を設けることでは解消しきれないとの皆さまのご意見を踏まえ、動画の作成はお願いしないこととしました。  
事務局としましては、感染症が収束しない中、代替手段を含めた実施の確実性、団体の負担の軽減、公平性、スケジュール、公開性、区にある機材でできることといった要素のすべてを、一定程度担保できる方法を検討してまいりましたが、団体の負担を増やさないこと（＝例年どおりの実施方法レベルの負担にとどめること）を最優先することといたしました。

項目	詳細	検討内容
開催方法	オンライン(ZOOM)	どのような状況下でも、対面での開催ではなくオンラインとします。
委員参加方法	①基本的にZOOMで参加 ②万が一、参加後にトラブル等でZOOMに入れなくなった場合、電話で質疑に参加。 ③会議の定足数は、ZOOM及び電話での参加人数で確認。	②メール・Faxでの参加が困難な理由 区のメールはセキュリティーチェックに掛かり届かない(※)、送信までに5分以上必要といったことがあるため、今回の状況では使えないと判断しました。また、Faxについても会場と地域コミュニティ課のフロアが異なり近くはないため、即時に確認することが困難なことから、今回は使わないこととします。
団体参加方法	①区が準備する会場から区が用意するPCにてZOOMに参加あるいは自宅や事務所から参加。 ②参加人数は、1団体につき3名まで。 ③会場では職員がサポートのため同席。 ④自宅等から参加の場合、機材トラブル等により、プレゼンが中断あるいは実施できない時は、電話で質疑応答に参加。	②参加人数は自宅等からの参加の場合でも、区の会場に合わせて3名までとします。 ④後日再実施しない理由 団体への最終通知が遅れることになり、事業計画に影響が出る恐れがあるため、後日改めての実施は困難と判断しました。 併せて、日程の変更についても、募集要項で広くお知らせしている日程ですので、募集からの公平性を保つため、6/28のままとします。
プレゼン方法	①実施方法は、例年どおり自由。 ②パワーポイント等がある場合は、委員への配布資料とする。 ③PCの持ち込み可。 ④実施中のZOOMを含めたPCの操作は団体。 ⑤時間は事務局が計測し表示。	③区のPCを使う場合、プレゼンで使う資料はPDFのみになります。
質疑方法	①質問がある方は挙手。 ②時間は事務局が計測し表示。 ③電話による参加が生じた場合でも、質疑時間は予定どおり。	①3団体ですので、代表質問制ではなく、各委員からの質問といたします。  ③団体の登壇スケジュールをあらかじめ組んでいますので、質問時間が伸びますと、次の団体へ影響し、また公平性が損なわれるため、時間は予定どおりとします。
評価方法	①評価表を記載し、当日(6/28)中に事務局へメールにて送信。 ②団体のプレゼンが中断あるいは実施できない場合、その団体については、配布資料等と質疑応答の内容により評価。	
最終協議方法	①事務局で取りまとめ、公開プレゼンテーションの翌日、委員の皆さまに取りまとめた内容について報告。 ②異議のないことを確認し、最終決定。 ③その上で、団体へ結果を通知。	①当日協議をしない理由 区がZOOMで使用しているPCはオンライン会議専用で、職員が使用しているPCと異なるため、ZOOMのチャット機能で資料をお送りいただいた場合、エクセルデータが開けません。集計・確認作業を行うには自席のPCにデータを移す必要があるのですが、自席のPCはUSBメモリが使えず、別の端末を介してデータを移し、その後自席のPCで作業を行うのため、例年の集計時間では間に合いそうにありません。 また、メールのやり取りでは受信確認に時間を要するところがあることから、所要時間が読めない状況です。 今年度は通過基準が明確ですので、当日の協議は見送ることとします。
公開方法	①事務局側でZOOMを録画したものを、ホームページ上で配信。 ②配信期間は限定。 ③団体には事前に説明し了承を得る。	

令和3年度一般事業助成・プレゼンテーション質問票

プレゼン順		委員名 ○○ ○○
申請番号		
団体名		
No.	質問事項	
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		

## 令和元年度一般事業助成・プレゼンテーション質問票

プレゼン順	4			代表質問者 <u>〇〇委員</u>
申請番号	6			
団体名		新宿子ども劇場		
No.	質問者	区分	質問事項	
1	石橋	地域課題・社会的課題	障害者という表現では広範囲過ぎるので、今回対象とされている障害者の方はどのような方々でしょうか。(障害の内容によって参加が困難だったり、興味の範囲外だったりします。)(p.175)	
2	石橋	地域課題・社会的課題	今回のコンサートやマジック教室は、障害の方以外に貧困家庭や多忙な親家庭でも体験出来ない方が多いと思われそうですが、障害者に向けて期待されるのは何でしょうか。(p.177)	
3	石橋	地域課題・社会的課題	新宿区は他の地域よりも「子供たちへの文化事業体験」に注力して(費用を掛けて)いますが、障害者の方には行き渡っていないのでしょうか。(p.175)	
4	石橋	計画・スケジュール	今回の活動テーマは、対象とされている障害者の方にアンケートなどを取られて決めたメニューででしょうか。テーマ選定の根拠を教えてください。(p.176)	
5	石橋	手法・事業効果	「Tシャツ制作ワークショップ」を一緒にする事で、「障害の理解」と「障害を受け入れる力」が養われるのでしょうか。最近の報道では、障害者の方は障害以外の部分で得意な事があったり、頑張ったりされるように紹介されています。Tシャツ制作での効果を教えてください。(p.176)	
6	松井伊藤	手法・事業効果	今回の事業では“インクルーシブ”という概念を取り入れ、障害をお持ちの方と健常者が事業を一緒になって考え、一緒になって行っていきます。非常に意義のある事だと思います。提案事業では、各イベント(会議や公演事業)に障害をお持ちの方々がどのように参画なされているのか教えてください。特に委員会の運営についてどのように参画されるのでしょうか。(p.176-178)	
7	伊藤	手法・事業効果	公演事業についてお聞きいたします。公演事業は、(1)西新宿地区、(2)落合地区、(3)四谷地区で計3回ありますが、障害者の方が出演者となっているのは(1)西新宿地区だけなのですが、なぜなのでしょう。(p.177)	
8	伊藤	手法・事業効果	ワークショップ事業及び公演事業で、対象者数に占める障害者の方の人数は何人位と考えておられますか。またその算定の根拠をお聞かせください。(p.176-177)	
9	長谷川	手法・事業効果	障害への理解の向上を目的としたワークショップに、多くの参加者を募るための周知方法の工夫をお聞かせください。(p.176)	
10	山田	手法・事業効果	2017年度の事業報告書に各種事業実績が載っています。次回のイベント参加者を確保するため、チラシの配布等行っていると思われそうですが、まいたチラシによりリピーターが実際に確保できているか、その効果がどれくらいあったかの効果測定は行われていますか。(p.205)	
11	山田	先駆性・専門性	子ども文化コーディネーターの資格取得要件と取得後の活動の場について、教えていただきたい。(p.180)	

## 令和元年度一般事業助成・プレゼンテーション質問票

プレゼン順	4			代表質問者 <u>〇〇委員</u>
申請番号	6			
団体名		新宿子ども劇場		
No.	質問者	区分	質問事項	
12	山田	継続性・発展性	サポーターの確保が課題としているが、団体の活動の継続性・拡大をしていくために、今後どのような確保策を考えているか教えていただきたい。(p.187・p.230)	
13	石橋 山田	経営状況・資金確保	補助金減額は「可」となっているが、仮に減額となった場合、どのように事業を見直しますか。(p.187) 【事務局より】今年度の一般事業助成の予算は200万円となっております。4団体の申請総額は158万5千円ですので、今年度に関しては減額調整が無いため補足させていただきます。	
14	松井	実績報告	<自己評価からの課題対策について> 新たに取り組む「障害者を受け入れる対策」を教えてください。(p.230)	